

平成30年度 私立学校 中堅教員研修会 〔東日本会場〕 実施案内

主催 一般財団法人日本私学教育研究所
後援 日本私立中学高等学校連合会
後援 日本私立小学校連合会

2020年を目指して進んできた教育制度改革が、いよいよ大詰めを迎えています。

次期学習指導要領は今後、20年に小学校で、21年には中学校で全面実施、22年から高等学校で年次進行実施されるスケジュールとなっています。一方「大学入試センター試験」は2019年度でその役割を終え、20年度からは「大学入学共通テスト」が開始されます。また英語の4技能評価のための検定試験利用についても、試験の実施時期や大学の利用方法など具体的な内容が少しずつ明らかになってきました。次世代を育てる教育制度が、いよいよ生徒や保護者にも見える形で学校現場に姿を現してきたのです。

こうした動向に対して多くの私学は、様々な観点から何度も検討を重ね、子どもたちの将来を見据えた具体的な対応策を打ち出してその周知に努め、すでに新たな歩みを開始しています。ところが、新しい教育制度の中には未だに不透明・不確定なものも少なくなく、改革途上で立ち止まっているものや実施にいたるまでにはまだまだ紆余曲折を経るのではないかと予想されているものも少なくありません。

こうした現状を前にして今回の研修では、教科・学年・分掌など学校の中心的役割を果たす中堅教員の先生方が、若い先生方を指導しながら教員集団全体をまとめ、また自校の建学の精神を継承しつつ新しい教育にも挑んでいかなければならない、という大変な役目を負っていることに焦点を当て、最新の知見、正しい情報、多様な意見を各校にお持ち帰りいただけるよう、4つのプログラムをご用意いたしました。

(1)「私立学校の現状と課題」では、こうした教育界の最新動向について正しい情報を確認し、これからの私学の在るべき姿を探ります。(2)「eポートフォリオを学ぶ(仮題)」では、高大接続改革の中で登場したeポートフォリオを、新しい学びの中でどのように活用したらよいか、教育の本質的問題として捉えます。(3)「主体的・対話的で深い学びをつなぐカリキュラムマネジメント(仮題)」では、AIを推進するためのCM構築の意義を考察します。(4)「中堅教員の使命」では、「強くて優しいグローバル教養人の育成」をうたう沖縄尚学高等学校・同附属中学校を例に、学校改革や教育改革の中で中堅教員がどのような役割を果たすべきかについて考えます。

2日間の短い研修ではありますが、参加者が意欲的に研修に臨み、また新しい仲間と出会うことで、明日からの教育活動の糧としていただけるような研修会を目指しています。どうぞ奮ってご参加ください。

会 期 平成30年7月25日(水)～7月26日(木)

会 場 [主婦会館プラザエフ](#) 7階「カトレア」

〒102-0085 東京都千代田区六番町15

参加対象者 全国(学校所在地を問いません)の私立小学校・中学校・高等学校・中等教育学校に在職する中堅本務教員で学校長が推薦する者

募集定員 100名

【 日 程 】

実施時間		内 容	
7 月 25 日 (水)	10:00~10:30	受付	(研修会場入口)にて
	10:30~11:00	開会式	
	11:00~12:30	研修 1 (90分)	講義と討議 「私立学校の現状と課題」 講師 中川 武夫 (一般財団法人日本私学教育研究所 所長)
	12:40~13:40	昼食 休憩	(研修 1 を踏まえて グループごとに情報交換会・懇親会を兼ねる)
	13:50~15:30	研修 2 (100分)	講義と質疑応答 「eポートフォリオを学ぶ(仮題)」 講師 森本 康彦 (東京学芸大学情報センター 教授)
15:40~17:00	研修 3 (80分)	グループ討議(研修 2 を踏まえて)	
7 月 26 日 (木)	9:00~10:30	研修 4 (90分)	講義 「主体的・対話的で深い学びをつなぐ カリキュラムマネジメント(仮題)」 講師 広石 英記 (東京電機大学 工学部人間科学系列 教授)
	10:40~12:00	研修 5 (80分)	ワークショップ(研修 4 を踏まえて)
	12:10~13:10	昼食 休憩	(グループごとに情報交換会・懇親会を兼ねる)
	13:20~14:50	研修 6 (90分)	講義「中堅教員の使命」 講師 名城 政一郎 (沖縄尚学高等学校附属中学校副理事長・校長)
	15:00~16:20	研修 7 (80分)	グループ討議(研修 6 を踏まえて)
	16:30~17:00	閉会式	

※ 運営の都合上、日程の一部が変更になる場合もありますので、予めご承知おきください。

※ 西日本会場(8月1日~2日 京都市)でも、同じ内容で開催します。ご都合のよい方で参加いただけます。



- JR 四ッ谷駅 麹町口前
(徒歩 1 分)
- 東京メトロ南北線/丸ノ内線
四ッ谷駅 (徒歩 3 分)
- 東京駅からのアクセス
JR 中央線快速で四ッ谷駅
(約 10 分)
- 羽田空港からのアクセス
東京モノレール快速で浜松町→JR
山手線(内回り)神田→JR 中央線
快速で四ッ谷駅 (約 40 分)

参加申込方法

- ① 参加申込書に必要事項を記入し、日本私学教育研究所へ郵送または FAX でお送りください。
申込締切 平成 30 年 7 月 10 日 (火)
※締切日前でも定員になり次第、締め切らせていただきます。

送付先・問い合わせ先

一般財団法人日本私学教育研究所 中堅教員研修係

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-3-8 市ヶ谷 UN ビル 6 階

TEL 03-3222-1621 FAX 03-3222-1683

E-mail kenkyu-kenshu@shigaku.or.jp

- ・参加申込書は、お一人一枚ご記入ください。複数名参加の場合はコピーしてください。
- ・参加申込書及び実施案内は、当研究所ホームページよりダウンロードすることもできます。

当研究所ホームページアドレス <http://www.shigaku.or.jp>

- ②参加申込書が届きましたら、参加確認証および指定払込書を学校長あてにお送りいたしますので、参加費を日本私学教育研究所あてに送金してください。

参加費: 16,000 円(両日の昼食費を含む)

- ・指定払込書の「振替払込金受領書」をもって領収書にかえさせていただきます。別途、領収書が必要な場合には、上記「中堅教員研修会係」までご連絡ください。
- ・研修会に不参加の場合、いったん納入された参加費用は全額返金できないことがあります。また返金の精算は研修会終了後となりますので、ご了承ください。

参加に際してのご注意

1. 参加確認証…参加確認証は、参加者本人が持参し、研修会当日に受付にご提示ください。前々日までにお手元に届いていない場合は、上記「中堅教員研修会係」に電話でご連絡ください。
2. 持参品…筆記用具、健康保険証。
3. 受講中の服装…ご指導いただく先生方に失礼のない服装で受講してください。
4. 来場方法…駐車場は用意していませんので、公共交通機関をご利用ください。
5. 宿泊の用意はしておりませんので、必要な方は各自でご手配ください。
6. 本研修会の研修期間中、参加者等の傷害保険には主催者として加入しておりませんのでご承知おきください。

個人情報の取り扱い

当研究所では、研修会に参加される方の個人情報は厳重に管理・保護し、その取扱いについては、法令その他の規範を尊重し、細心の注意を払っております。参加申込書にご記入いただいた個人情報は、「参加確認証」及び研修会参加のために必要な書類の送付、実施要項の名簿作成、当研究所の各種研修会開催等のご案内の送付、また何らかの理由で研修会に参加される方に連絡を要する事態が生じた場合のみに利用いたします。

送付先 日本私学教育研究所 FAX番号 03-3222-1683 ※送信状は不要です
 【申込締切日：7月10日（火）】

平成30年度 中堅教員研修会 東日本会場 参加申込書 [121-]

- ・太線枠内に必要事項を記入、または該当する事項に○印をしてください。
- ・※の項目は、実施要項の参加者名簿に記載します。他は研究所が統計上の記録・調査に使用します。
- ・申込は一人につき一枚の申込書を使用してください。同一校から複数名でお申し込みの場合は、用紙をコピーしてご利用ください。

※都道府県名		※学校名	
学校所在地 〒			
		TEL	FAX
ふりがな ※参加者氏名		男・女 年齢()	緊急連絡先 (自宅・携帯電話番号等連絡が取れるところ)
職名 ○で囲んでください 教諭・講師(常勤・非常勤) その他()		※教科	担当科目 校務分掌(委員会)
教職経験の有無(職名を問わず) 現勤務校に()年・一年未満 それ以前に、私立学校 年・公立 年		教職以外の就業経験 有()年間・無	
現在のクラス担任 有(小・中・高 年生)・無		現在担当のクラブ活動 有()・無	
メールアドレス ：当研究所からの研修会案内等のメール配信希望の方は、メールアドレスをご記入ください。(携帯電話のメールは不可)			
一般財団法人 日本私学教育研究所 御中		平成 30 年 月 日	
上記の通り申し込みます。			
		学校長氏名 ㊟	
【通信欄】研修2「eポートフォリオを学ぶ」について、講師にお聞きになりたいことがあれば記入してください。			

- 参加費の送金について
- ・この申込書をお送りいただいた後、「参加確認証」と「指定払込票」を送付いたしますので、期限までに「指定払込票」を使って参加費の送金をお願いいたします。
- ・「指定払込票」の「払込金受領証」をもって領収書にかえさせていただきます。